

# 令和4年度 第1回 就労支援事業所研修会事業報告

## ～支援者としての自分を振り返ってみませんか～

就労支援の学びを深めるために、経験年数が3年未満の方を対象に研修会を実施しました。

- 実施日：6月15日（水）14：00～16：45
- 参加者：市内の就労支援事業所 25事業所33名
- 実施方法：オンライン研修

### ① 事例発表『なのみ学園との協働支援について』

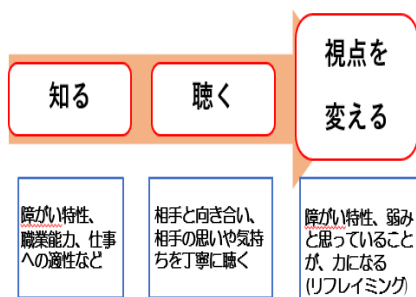
社会福祉法人野の花学園 福岡市立なのみ学園 佐藤 藍子氏  
福岡市障がい者就労支援センター 八方 貴美子

なのみ学園に通所するAさんが就職するまでの約1年間、協働支援を行いました。支援員の佐藤氏よりその一連の支援の中で、気づいたことや学んだことを発表していただきました。

佐藤氏は、見学や実習を行うことで、企業の判断や視点を知ることでき、その上で、実際の職場で必要となるスキルを想定した訓練を行うことの重要性を学んだそうです。また、企業は、支援者の態度や利用者との関り方なども見ているということを実感し、自身の支援の入り方や立ち振舞い、利用者との距離感を見直すきっかけになったとの話がありました。参加者にとっても、参考になった方が多かったようで、「自身の態度や行動を振り返ろうと思う」、「支援者も共に成長していくことが大事だと感じた」等の感想がありました。

### ② 講義『支援で大事にしたいこと』

福岡市障がい者就労支援センター 高野 徳子



利用者と信頼関係を築くために、日々の相談や訓練の中で利用者の特性や職業能力などを「知る」こと、利用者の気持ちや思いに寄り添い、話を丁寧に「聴く」ことが大切であるとの話をしました。そして、できないことや難しいことなど短所として捉えがちなことは「視点を 変える」ことが就労支援のポイントであることや、支援者自身の思い込みや考え方の癖で、利用者の可能性を狭めていないかなど、関り方や支援方法を見直すことの大切さをお伝えしました。

### ③ 意見交換会

参加者5～6名ずつ4グループに分かれ、意見交換を行いました。事例発表等で感じたことや気づきをふり返りつつ、日頃の支援の中での悩みを出し合い、互いの取組みや現状を共有しました。参加者からは、「様々な支援者の意見を聞くことで、仲間がいるのだと思えた」「同じようなサービスを提供している支援機関でも利用者との関り方が違い、勉強になり、刺激の多い意見交換会となった」「共有できる場があるのは大切だと感じた」などの感想がありました。

次回は、9月7日（水）に企業との交流会を計画しています。ご参加、お待ちしております。

# 令和4年度第2回就労支援事業所研修会 事業報告

## ～企業との意見交換会～



「企業との意見交換会」を9月7日(水)に行いました。当日は残暑のなか、5企業9名、21事業所21名の方々にご参加いただきました。参加された企業、事業所の皆様、ご協力ありがとうございました。



### 【意見交換会】

参加者が5グループに分かれ、3社の企業と意見交換を行いました。1回の意見交換は20分。久々の対面による意見交換となり、普段はなかなか聞けないような、「企業担当者が支援機関に思うこと」「どのような支援を必要としているのか」、「実際に困った支援は」など、参加者、企業の担当者それぞれが本音を出し合えるような意見交換の場となりました。

企業担当者の生の声や障がい者雇用の実際に触れることができ、日々の就労支援への向き合い方や事業所での実践に向けて、意識を新たにされた方も多くいらした様子でした。

＊参加事業所のアンケートより

- ・企業との情報共有がいかに大切か実感した。利用者の様子で気付いた点などを日々まとめ、いつでも共有できるようにしていきたい。
- ・企業ごとにタイプが違い、支援方法も様々であることが分かって良かった。企業の方からも質問があり、これからの支援をどう工夫していくべきか考える機会となった。

### 【講義・企業紹介】

講義では、当センター就労支援相談員より、「企業で働くとは～障がい者雇用・企業の動向について～」をテーマに、障がい者雇用を取り巻く現状や企業の障がい者雇用への取り組み、企業が求める人材について話をしました。その後、5社の企業による業務内容の紹介を行いました。各社とも限られた時間ではありましたが、事業の概要や障がい者雇用の状況について、これまでの取り組みをエピソード等を交えてお話いただきました。

研修会での気づきをそれぞれの事業所で今後の支援に活かしていただけると幸いです。  
次回の研修会については、詳細が決まり次第ご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。  
事業所支援担当一同